

# エビデンスベースの学校改革 — 大阪市の実践から —

(全2回)

7 / 24 (水) 15:30~

8 / 5 (月) 15:30~



講師 **庭山和貴**

大阪教育大学 総合教育系・准教授

博士(心理学)、公認心理師

児童生徒の問題行動や心理的な問題の予防・減少効果が実証されている“学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)”を、日本の学校現場においてどのように実行・持続させていくかについて、複数の自治体・学校と連携して実践研究を行っている。日本ポジティブ行動支援ネットワーク副会長。2016年度日本教育心理学会優秀論文賞、2020年度同学会城戸奨励賞受賞。

現在の学校現場が抱える諸課題に対応可能な学校組織の構築を支援するため、学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)や多層支援システム(MTSS)を中心に、教育に関する最新の研究に基づくエビデンス/データ活用について紹介します。こうしたエビデンスや自校のデータを活用しながら、学校改革に取り組んだ実践例について、大阪市のモデル校が実践報告を行います。

## スケジュール (原則両日参加)

### 7月24日 (水)

15:00 受付開始

15:30 講演

「エビデンスベースの学校改革

— 学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS)  
・ 多層支援システム (MTSS) の紹介 —

17:00 終了予定

### 8月 5日 (月)

15:00 受付開始

15:30 実践報告

「大阪市のエビデンスベースの学校改革  
・ モデル校の実践」

16:30 質疑応答・ディスカッション

「エビデンスベースの学校改革を進めるには  
どうしたらよいか？」

17:00 終了予定

## 申込方法

以下URLもしくはQRコードより予約フォームにアクセス願います。

(7月24日) <https://forms.gle/x86QmLiYPuqryLkS8>

(8月 5日) <https://forms.gle/HHveWpsg5TF7Wx186>

※大阪市の現職教員の方は、この申込みフォームによらず、  
大阪市総合教育センターご担当様に直接お申込み願います。



(7月24日分)



(8月5日分)

## 対象・定員

教育委員会関係者・学校関係者

(Zoom参加形式のみ: **300**名)

※Zoomの招待コード等は後日送付いたします。  
※大阪市の現職教員の方のみ、対面形式でのご参加が  
可能です。詳細は大阪市総合教育センターご担当様  
までお問い合わせ願います。

申込期限

**7月17日 (水) まで**

(定員に達し次第締め切り)